

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	97-1121
事業コード		事務事業名	関連団体会費及び補助事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	ファン及び市民のために
手 段	交通事故防止活動及び防犯防止活動に係る補助金等を支出することによって
想定する成果	競艇事業の円滑な運営に資する。

③事業の概要

（千円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
愛知県交通安全協会蒲郡支部会費	250	250	250
事業内容	交通安全運動の推進、広報資料の作成と配布、交通安全教育活動等		
防犯協会連合会防犯活動事業補助	3,600	3,600	3,600
事業内容	地域安全活動の積極的推進、青少年の健全育成、暴力及び銃・凶器の追放等		

④成果指標

①

②

成果指標名	会費割合	補助金割合
成果指標の説明	交通安全協会蒲郡支部会費／総事業費×100	防犯協会連合会防犯活動費／総事業費×100

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別 会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	4.9%	10.9%	4.8%
	実績	6.9%	9.0%	—— %
成果指標 ②	計画	54.6%	54.6%	52.9%
	実績	69.5%	63.7%	—— %
事業費	事業費	3,850	3,850	3,850
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	5,503	5,473	5,521
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,503	5,473	5,521

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	2	交通事故防止及び防犯防止等広報活動意識高揚に繋がっている。
経済効率性	2	2	補助金等支出することによって、交通事故等件数及び犯罪件数等減少に繋がっているか疑問である。
事務効率性	2	2	総会へ出席していない補助もあって、適性に執行されているか十分に把握できない。
必 要 性	3	2	交通安全運転や防犯に対する意識高揚のためには、市民等に周知, 運動等は不可欠である。
小 計	10 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	3	3	常に官、民一体の運動が多く市民参加度は高い。
合 計	13 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

交通安全協会蒲郡支部会費及び防犯協会連合会防犯活動事業補助内容は、蒲郡市全体に関する事業であるので関係課への予算配当見直しが必要。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	97-1121
事業コード		事務事業名	ファンサービス事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	ファン及び市民に対し
手 段	新春甘酒接待、ペアボート試乗会、ゴムボート大会を開催することにより
想定する成果	ファンサービス、水難事故防止の啓発等を通じ、競艇事業の円滑な開催に資する。

③事業の概要

(千円)

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
新春甘酒接待サービス	1,515	1,374	1,655
ペアボート試乗会	120名／10日 422	228名／19日 732	216名／18日 730
少年少女ゴムボート大会	235名／1日 140	216名／1日 140	250名／1日 140

④成果指標

①

②

成果指標名	事業費割合	甘酒等接待一人当たり経費
成果指標の説明	3事業費合計／ファンサービス事業費合計×100	甘酒等接待サービス経費総額／接待総人数

⑤事業の進捗状況

(モーターボート特別 会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	0.3119%	0.3356%	0.3920%
	実績	0.3073%	0.3578%	—
成果指標 ②	計画	90円	100円	80円
	実績	80円	90円	—
事業費	事業費	2,078	2,246	2,525
	人件費	2,479	2,435	2,506
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	4,557	4,681	5,031
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,557	4,681	5,031

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	非常に参加者も多く評判もよく、内容の満足度は高い。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必 要 性	3	3	本場活性化、海難防止及びファンや市民への還元であり必要。
小 計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	2	2	ペアボートについては、参加希望者が多く、時間や参加人員に制限があり希望者全員を受け入れられない。
合 計	14 /15 満点中	14 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	ファンサービス事業を行うことにより、より多くの人が参加し、本場の活性化につながる。また、競艇場に対する理解とファン及び市民に還元している。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

ペアボートについては、ファン要望を考慮し、開催日数を増やした。
平成14年度 10日→平成15年度 19日

⑧今後改善すべき点

ペアボートについては、レース開催状況を考慮し開催増できるよう検討したい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	1133
事業コード		事務事業名	竹谷地区テレビ共同受信施設管理事業	
根拠法令等	蒲郡市中高層建築物指導要綱	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競艇場周辺の民家等のために
手 段	共同受信アンテナの設置及び有線ケーブルの配線をし電波障害を解消することにより
想定する成果	快適なテレビ受信を達成する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
保守内容	年1回定期点検 受信アンテナ 1基 加入戸数 178戸	年1回定期点検 受信アンテナ 1基 加入戸数 178戸	年1回定期点検 受信アンテナ 1基 加入戸数 178戸

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	受益者1件当たりの経費	
	共同受信施設管理費／受益者数	

⑤事業の進捗状況（ モーターボート競走事業特別会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	597.2円
	実績	592.1円	584.3円	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	228	228	228
	人件費	826	812	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,054	1,040	1,063
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,054	1,040	1,063

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	現在電波障害のある民家等は全て設置している。
経済効率性	3	3	管理委託料は現状のまま推移している。
事務効率性	2	3	職員の休日に故障した場合も対応する必要がある。
必 要 性	3	3	市が実施する事業である。
小 計	11 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	11 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	維持管理により電波障害は解消されている。
------	---	---	----------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

電波障害が発生する前に周辺地区へ訪問し、聴き取り調査を実施した。

⑧今後改善すべき点

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	97-1121
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	競走事業協力会助成金事業				
根拠法令等	蒲郡市モーターボート競走場の予想業者等の予想コンクール、研修、及び被服等に関する要綱		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	予想業者が
手 段	レースの着順を予想し、的中させファンの購買意欲を盛り上げ、また、研修を実施すること等に対して助成金を支出することによって
想定する成果	蒲郡競艇の売り上げ向上を図る。

③事業の概要 （千円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
予想コンクール副賞	84	84	84
被服購入	161	72	220
研修	1,340	1,454	1,448
予想業者数	37人	36人	33人

④成果指標

成果指標名	① 研修費助成割合	②
成果指標の説明	研修費等助成額／協力会総事業費×100	

⑤事業の進捗状況 （モーターボート特別 会計）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	42.7%
	実績	14.3%	16.6%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	1,585	1,610	1,752
	人件費	2,479	2,435	2,506
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	4,064	4,045	4,258
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,064	4,045	4,258

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	予想業者の統一された制服着用により怖いというイメージを払拭しているが、本場へのお客が減少しているため達成度は低い。
経済効率性	2	2	予想業とはいえ、レースの的中はなかなか難しく、即、売上に繋がっているかどうか疑問である。
事務効率性	2	2	補助金申請に伴う事業計画、決算書作成に指導を要する。
必 要 性	3	2	本場へのファンの減少及びIT関連機器の発展に伴ないオッズの表示、コンピューター及びスポーツ紙による予想などが進んでいるが、お客とのコミュニケーション等を図ることにより、本場の活性化に繋がるため必要である。
小 計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	本場へのファンの減少及びIT関連機器の発展に伴ないオッズの表示、コンピューター予想などが進んでいるため、参加度は減少しているが、場内の予想屋に頼るお客もまだまだ多い。
合 計	11 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	予想業者の統一された制服は、来場者へ予想屋は怖いというイメージを払拭しているが、本場へのファンの減少、IT関連機器の発展に伴ないオッズの表示等で予想業者による予想が即、売上向上に繋がっているかどうか疑問である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

予想コンクール副賞→100,000円を平成13年度から84,000円(△16,000円)に見直した。
 研修旅費→交通費・宿泊費の2分の1限度額50万円を平成13年度から限度額40万円に見直した。
 被服費→購入金額の8割(単価8,000円)を平成13年度から購入金額の7割(単価8,000円)に見直した。

⑧今後改善すべき点

研修費の減額

⑨平成17年度予算に反映する項目

研修費の予算減額したい。(研修費のうち定額割 400,000/年を△100,000し、定額割300,000円とする。)

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	1133
事業コード		事務事業名	競技部改修事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競技部の老朽化した建物を
手 段	改築することで
想定する成果	モーターボート競走の中心である選手、競走会及び整備職員の運営業務を円滑に遂行する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
競技部改修	基本計画作成委託料 2,625千円	実施設計委託料 20,790千円	改修工事費 160,000千円 平成16,17年度事業
	競技本部棟 鉄骨造2階建A=493㎡ ピット上屋 鉄骨造平屋建A=155㎡		

④成果指標

成果指標名	①	②
事業執行率		
成果指標の説明	累積事業費／総事業費×100	

⑤事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画			44.89%
	実績	0.74%	5.83%	—
成果指標②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	2,625	20,790	160,000
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	4,278	22,413	161,671
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,278	22,413	161,671

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	モーターボート競走の競技部という特殊施設であったが、設計業者と協議を重ね、ほぼ、目標どおりの計画が出来た。
経済効率性	2	3	設計業者6社による、指名競争入札を実施した、また、改修工事はJ Vを組み入札し施工予定
事務効率性	2	2	特殊建築物であるが、職員による監理とする。
必 要 性	3	3	現競技部の老朽化が進むなか、円滑なモーターボート競走が出来るような、施設が望まれる。
小 計	9 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	競技本部が倒壊すると、レースが出来なくなるため、基本計画、実施設計と進めてきたが、平成16年度改修工事の着工となった。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

競技部という特殊建築物と、レースを中止できないという特殊事情のため、委託業者の発想を生かしながら、綿密な協議を実施し、建設コストを抑えるとともにレース中止しなくても良い工法を考えた。

⑧今後改善すべき点

競艇レースに支障が発生しないよう、適切な監理が必要である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

継続事業費の計上
平成17年度 改修工事費 173,000千円（債務負担）

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	97-1111
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	競走事業特別会計予算の執行管理事務事業		
根拠法令等	地方自治法・蒲郡市予算決算会計規則	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	モーターボート競走事業特別会計の予算について
手 段	適正に執行されているか歳出調書等を審査するとともに決算見込等を実施し
想定する成果	競艇事業の健全経営に努める。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
歳入歳出調書枚数	8, 2 2 1 枚	6, 5 8 9 枚	—
予算編成・決算関連実施回数	7 回	7 回	6 回

④成果指標

	①	②
成果指標名	競艇事業から他会計への繰出金	予算編成・決算関連実施回数
成果指標の説明	競艇事業から他会計への繰出金	他会計への繰出金の確保と健全経営

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	1, 960, 000	1, 640, 000	895, 000
	実績	1, 960, 000	1, 640, 000	—
成果指標 ②	計画	5 回	6 回	6 回
	実績	7 回	7 回	—
事業費	事業費	93	93	93
	人件費	22, 310	21, 915	22, 553
	(人数)	2. 7	2. 7	2. 7
	合計	22, 403	22, 008	22, 646
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	22, 403	22, 008	22, 646

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	決算見込等を実施し各担当の歳出を抑制したことにより、他会計への繰出金は予算どおり確保できたものの、売上額の落込みにより、施設整備事業基金への積立ができなかった。
経済効率性	3	3	
事務効率性	2	2	競艇事業は歳入・歳出予算額が大きく見積書作成等に時間を要する。また歳出の調書数が多く、内容まで検討することが難しい。
必 要 性	3	3	市が実施すべき事業である。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	多くの各種契約等が年度当初に行なわれており、歳出の抑制が難しかったが、他会計の繰出金は確保できた。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

売上額の減少が激しいため、決算見込の実施回数を平成14年度より1回多くし、年3回（10月、12月、4月）実施するようにした。

⑧今後改善すべき点

競艇という特殊な事業であるので、特に歳出については費用対効果を検討しながら調書を審査するように努める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成 1 5 年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	管理課	内線等	9 7 - 1 1 1 1
事業コード		事務事業名	場間場外発売受託事務事業	
根拠法令等	地方自治法第 2 5 2 条の 1 4 第 1 項	A法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	他の施行者が開催するモーターボート競走を
手 段	場外発売事務の管理及び執行を受託することにより
想定する成果	競艇事業収益を増加し、本市の自主財源を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
場間場外発売上額 (収益額)	8, 191, 990, 700円 (760, 975, 503)	7, 586, 388, 700円 (701, 500, 865)	7, 335, 000, 000円 (447, 016, 000)

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	場間場外発売収益額	場間場外発売収益率
	場間場外発売収益額	収益額／売上額× 1 0 0

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	685, 134	670, 457	447, 016
	実績	760, 975	701, 501	—
成果指標 ②	計画	8. 05%	8. 01%	6. 09%
	実績	9. 29%	9. 25%	—
事業費	事業費	582, 499	544, 731	761, 696
	人件費	3, 305	3, 247	3, 341
	(人数)	0. 4	0. 4	0. 4
	合計	585, 804	547, 978	765, 037
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	585, 804	547, 978	765, 037

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	場間場外受託発売の収益は確保されているが、併用発売時は自場分の売上が減少しており、必ずしも相乗効果が表れていない。
経済効率性	2	2	売上額の8%を開催経費として本場から受領しているが、8%を超えるレースがあり、超える分が持ち出しとなっている。
事務効率性	3	3	開催経費の算出と収益計算に時間を要する程度である。
必 要 性	3	3	市が実施すべき事業である。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度			
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	併用発売時には、自場売上が減少するレースもあるが、他の施行者に場間場外発売委託事業発売で協力していただいているので、今後もレースを選びながら実施して行きたい。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

レース毎に売上目標をもとに、開催経費の大きなウエイトを占める臨時従事員の採用を決定し、適切な従事員経費の執行につとめてきた。また広告宣伝経費もレースのグレードによりめりはりを付けて運用し、開催経費節減に努めている。

⑧今後改善すべき点

売上額に対する8%を開催経費として受領しているが、超えるレースもあるので臨時従事員等の経費についてより適切な執行に努める。特に、ナイターレースについては、警備委託料が増額し収益率が落ちるので検討する必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載